

気仙沼における震災復興と 学校教育・防災

宮城県気仙沼市は、東日本大震災で甚大な被害を受けました。
この度、お茶の水女子大学は、気仙沼市教育委員会と連携協定
を締結し、教育分野での連携を通じて気仙沼の復興を支援して
いくこととなりました。来る 11 月 16 日、気仙沼市教育委員
会から白幡教育長・及川副参事をお招きして、東日本大震災
における学校の対応とその後の教育復興、学校現場の支援
ニーズ等についてご講演いただくことになりました。
これらを通じて、地域の復興と次なる災害への備え
について学ぶ機会にしたいと思いますので、
ご関心のある方は奮ってご参加下さい。

プログラム

- 15:00～15:20 協定締結セレモニー
(羽入学長、白幡教育長)
- 15:20～17:45 講演会・研究会
- 18:00～19:30 懇親会

講演

白幡 勝美 氏 気仙沼市教育委員会 教育長

「津波災害からの復興とお茶の水女子大学への期待
～過去の津波被災とそれに続いた取組の経験から～」

Profile 1945 年 6 月 5 日生まれ。1968 年東北大学卒業。同年宮城県志津川高等学校教諭。
1980～1984 年度、気仙沼高等学校教諭。この間より十八鳴り浜、九九鳴き浜の保護活動に取り組む。
1991～1995 年度宮城県教育研修センター指導主事。理科、環境、防災教育を担当。2004～2006 年度、
気仙沼高等学校校長。
2006～2008 年、気仙沼図書館館長。気仙沼 ESD / RCE 推進委員会委員長。小・中・高の連携を実現し、
校種を超えて科学教育や「国連・持続可能な開発のための教育」(ESD) の推進に取り組む。
2008 年 5 月より現職。2011 年 3 月 11 日の東日本大震災以降は、気仙沼市の教育行政のトップとして
教育復興の陣頭に立ち、大学や専門機関、民間企業、NPO 等と連携して様々な教育復興支援策や津波防
災教育等を推進する。



及川 幸彦 氏 気仙沼市教育委員会 副参事兼指導主事

「東日本大震災からの教育復興の歩みと未来に向けた教育の展望」

Profile 2002 年に面瀬小学校の研究主任として地域や大学・専門機関と連携しながら米国の学校と協働
して国際的な環境教育をスタート。その取組は国内外から認められ、2005 年に「日本水大賞・文部
科学大臣賞」受賞。2007 年 3 月には、テキサス州上院・下院から表彰決議を受ける。2006 年には
気仙沼市教育委員会指導主事に異動し、ESD の地域拠点 (RCE) への気仙沼市の認定に寄与すると
ともに、文部科学省と連携して市内の学校のユネスコスクール加盟促進に尽力。中井小学校教頭在
任中、各著作物の発行や国際シンポジウムを通じて気仙沼の取組を発信。2011 年 3 月の東日本大震
災の直後から現職。気仙沼市の教育復興と防災教育に取り組んでいる。政府「国連・持続可能な開発
のための教育の 10 年」円卓会議委員、環境省「+ESD プロジェクト」評価委員、宮城教育大学非常勤講師、
京都大学大学院地球環境学堂非常勤講師等歴任。



日時：平成 24 年

11

月

16

日 (金) 午後

3

時～

会場：お茶の水女子大学 大学本館 3 階 306 室 (大講義室)

申込不要・入場無料

共催：お茶の水女子大学 東日本大震災 被災地支援プロジェクトチーム
シミュレーション科学教育研究センター 被災地支援・防災 学内共同研究班
(代表 水野 勲)

お問い合わせ：小田 隆史 (内線 6153)



お茶の水女子大学



気仙沼市教育委員会